

平成 31 年度 みずほ保育園 事業計画

主テーマ『子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように』

今年度、みずほ保育園では「子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように」という主テーマのもと、保育を実施したいと考えます。指針第 1 章「育みたい資質・能力」の中で示されている『心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性」』の育成に注目し、子どもの主体性の育成を行っていききたいと思います。そして保育目標にも掲げている、「親が子供を授かった喜びを味わい、子どもを受け入れ、見守り、共感する保育」が実現できるよう職員間の連携を密に保育を行っていききたいと思います。

【施設運営】

① 保護者、関係機関との良好な関係の構築

新指針においても、「地域の保護者等に対する支援」が謳われており、保護者との相互理解を図り、地域に開かれた子育て支援を行っていく必要があります。また宮津市が導入を進めている就学前から義務教育機関の 10 年間を通した系統的で一貫性のある教育を行う「小中一貫教育」が進められ、より地域関係機関との連携も高まっています。これまで以上に保護者や地域の方々、市町村や関係機関との連携を密にとり、制度周知のリアルタイムの情報の把握に努め、健全な運営、法人経営が行えるよう努めたいと思います。

【人材育成】

「保育所保育指針」「子ども子育て支援新制度」が目指す保育園の在り方、職員スキルなどの理解を深め、保育に寄せる様々な人の思いや願いを受け止め、子どもの幸せに寄与する事ができるよう研鑽を深めます。また園外研修も積極的に受講し、直接処遇業務に必要な資格取得や技術向上に努め、職員の資質向上に努めたい。

【保育内容】①子どもが自主的に遊びを展開できるように

新指針のポイントとして【学びに向かう力】が挙げられています。やりたいことを見つけて粘り強く取り組む姿の育成として、保育士が主体的に遊びを提供するのではなく、子どもの自主性を尊重し、子ども自身が遊びの内容を考え、工夫し、展開していける環境を整え、主体性を育んでいききたいと思います。その際、「卒園までに身につけておきたい 10 の姿」も意識した指導計画の下、実施したいと考えております。遊びの中に芽生えている学びをきちんと見取り、可視化し、記録として共有したり、発信したりできるよう、「遊びの質」を高めたいと思います。今年 1 年かけて、園全体でそうした活動として、「ドキュメンテーション活動」に取り組みたいと考えます。

②防犯対策、保健対策、安全対策

- ・新指針において、「災害への備え」という項目が、健康支援や安全管理などと併せて示されています。月 1 回の避難訓練の内容を充実させると共に、食料の備蓄、保護者との連絡体系の充実を図っていきたい。
- ・保健対策として、保護者に対し、流行性疾患がはやる前に意識啓蒙に関する通信を出し、流行性疾患などの予防に努めたい。また園内で流行性の疾病がはやった時には、ホワイトボードやメール配信システム、お便り等を利用して、情報を迅速に伝えたいと思います。
- ・「感染症マニュアル」はもちろん他に作成しているマニュアル類を職員全体で再確認する場を設けて、知識の共有化を図りたいと思います。そして、『子どもが朝、登園した姿のまま、保護者に受け渡す』という保育の基本を堅守したいと考えます。

④保護者支援について

今年度も個人面談や懇談会等を通して、子育てについて思い悩んでおられる保護者に対して、思いや悩みを傾聴し、保護者の気持ちに寄り添いながら保護者支援を行っていききたいと思います。